

令和7年度 事業報告書

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

一般財団法人 東洋医学研究所

令和7年度については、当財団の事業目的に基づき、下記のとおり各事業を実施した。

記

I 公益目的支出計画

1. 公益目的支出計画実施状況

① 期首公益目的財産残額	60,731,321 円
② 単年度公益目的収支差額	2,282,572 円
公益目的支出額	2,583,572 円
実施事業収入額	301,000 円
③ 期末公益目的財産残額	58,448,749 円
(当初計画との差異)	▲2,857,886 円)
④ 公益目的支出計画の完了予定期末日	令和45年3月31日

※ 公益目的支出計画 (参考)

公益目的財産額 (当初)	81,586,635 円
公益目的収支差額見込額 (期間中平均)	1,690,000 円
公益目的支出計画の完了予定期末日	令和45年3月31日
公益目的支出計画実施期間	49年間

2. 公益目的財産額・純資産額推移

(単位：円)

	公益目的支出計画	① 公益目的財産残額	② 純資産額	②-①	医療+法人損益 (単年度)
H26.3 末	81,586,635	81,586,635	81,586,635		
H27.3 末	79,896,635	79,977,621	86,857,118	6,879,497	6,879,497
H28.3 末	78,206,635	78,262,165	86,331,219	8,069,054	1,189,557
H29.3 末	76,516,635	76,823,371	86,847,337	10,023,966	1,954,912
H30.3 末	74,826,635	74,776,055	86,142,392	11,366,337	1,342,371
H31.3 末	73,136,635	72,954,915	81,569,612	8,614,697	▲2,751,640
R 2.3 末	71,446,635	70,845,002	76,138,989	5,293,987	▲3,320,710
R 3.3 末	69,756,635	69,340,718	74,411,631	5,070,913	▲223,074
R 4.3 末	68,066,635	67,717,534	74,428,597	6,711,063	1,640,150
R 5.3 末	66,376,635	65,602,056	67,232,714	1,630,658	▲5,080,405
R 6.3 末	64,686,635	63,204,050	60,717,297	▲2,486,753	▲4,117,411
R 7.3 末	62,996,635	60,731,321	54,219,151	▲6,512,170	▲4,025,417
R 8.3 末	61,306,635	58,448,749	48,138,597	▲10,422,226	▲3,797,982

II 会議

1. 理事会

- (1) 第1回 令和7年6月5日(木)
- | | | |
|------|-------|-------------------------|
| (議事) | 第1号議案 | 令和6年度事業報告書(案)の承認について |
| | 第2号議案 | 令和6年度決算報告書(案)の承認について |
| | 第3号議案 | 公益目的支出計画実施報告書(案)の承認について |
| | 第4号議案 | 令和7年度定時評議員会の開催・議題等について |
| | 報告事項1 | 任期満了に伴う堀正樹監事の退任について |
| | 報告事項2 | 新公益法人会計基準について |
| | 報告事項3 | 附属クリニックのレントゲン撮影装置入替について |
- (2) 第2回 令和7年6月20日(金)
- | | | |
|------|-------|------------|
| (議事) | 第1号議案 | 理事長の選定について |
|------|-------|------------|
- (3) 第3回 令和8年3月5日(木)
- | | | |
|------|-------|------------------|
| (議事) | 第1号議案 | 令和8年度事業計画(案)について |
| | 第2号議案 | 令和8年度予算(案)について |
| | 第3号議案 | レセプトシステムの更新について |
| | 報告事項 | 令和7年度業績見通しについて |

2. 評議員会

- (1) 定時(第1回) 令和7年6月20日(金)
- | | | |
|------|-------|-------------------------|
| (議事) | 第1号議案 | 令和6年度事業報告書について |
| | 第2号議案 | 令和6年度決算報告書(案)の承認について |
| | 第3号議案 | 公益目的支出計画実施報告書について |
| | 第4号議案 | 任期満了に伴う理事の選任について |
| | 報告事項1 | 任期満了に伴う堀正樹監事の退任について |
| | 報告事項2 | 新公益法人会計基準について |
| | 報告事項3 | 附属クリニックのレントゲン撮影装置入替について |
- (2) 第2回 令和8年3月5日(木)
- | | | |
|------|-------|------------------|
| (議事) | 第1号議案 | 令和8年度事業計画(案)について |
| | 第2号議案 | 令和8年度予算(案)について |
| | 第3号議案 | レセプトシステムの更新について |
| | 報告事項 | 令和7年度業績見通しについて |

III 役員等の就任・退任

【理事】

令和7年6月21日任期満了に伴い、以下のとおり選任を行った。

(就任)	理事(理事長)	櫻井 康司(再任)
	理事	本間 生夫(再任)
	理事	田中 滋城(再任)

任期：令和9年6月開催の定時評議員会の終結の時まで

【監事】

令和7年6月20日付で、監事2名のうち1名が任期満了により退任した。

(退任)	監事	堀 正樹
------	----	------

IV 公益事業（研究・啓発部門） 【実施事業】

1. 研究部門

当研究所の目的である東洋医術の医学的研究活動を、基礎及び臨床におけるテーマに基づき、鍼灸並びに柔道整復分野の所内研究グループにて実施し、その成果について学会発表・学会誌投稿等を行った（計 32 題）。各グループの研究内容は以下の通り。

[鍼灸分野]

(1) 鍼灸臨床研究班

（研究員：筒井宏史研究員、丸山広美研究員、中野陽子研究員、伊丹章人研究員）

研究テーマは以下のとおり

- ・「身体局所における皮膚応答性（閾値）の比較」－生体の刺激に対する応答性とその特性について－
- ・「耳介鍼刺激（皮内鍼）による高度肥満者に対する体重減少効果」

(2) 東洋医学研究班

（研究員：木戸正雄主任研究員、光澤弘主任研究員、東垣貴宏研究員、武藤厚子研究員）

※ 「脈診の研究」及び「経絡系統治療システム」を継続して研究。

研究業績は論文発表、依頼講演を含め 8 題。

- ① 第 74 回全日本鍼灸学会学術大会（名古屋大会）【令和 7 年 5 月 30 日～6 月 1 日】
「脈診訓練法の開発(第 26 報)―脈状における大脈・小脈・太脈・細脈の古典文献からの検証―」（一般演題発表：東垣貴宏研究員）
- ② 第 74 回全日本鍼灸学会学術大会（名古屋大会）【令和 7 年 5 月 30 日～6 月 1 日】
「全日本鍼灸学会辞書用語部における活動について」（報告：光澤弘研究員）
- ③ 第 53 回日本伝統鍼灸学会学術大会（東京大会）【令和 7 年 10 月 11・12 日】
シンポジウム「補法、瀉法の理論と技術 -経絡治療の視点から -」（演者：木戸正雄主任研究員）
- ④ 第 53 回日本伝統鍼灸学会学術大会（東京大会）【令和 7 年 10 月 11・12 日】
「天・地・人治療」（第 14 報）―急性中耳炎に対して経絡系統と気街の交点となる経穴を用いた 1 症例―（一般口演発表：東垣貴宏研究員）
- ⑤ 第 53 回日本伝統鍼灸学会学術大会（東京大会）【令和 7 年 10 月 11・12 日】
「『天地人治療』の実際(パーキンソン病に対する治療)」実技講演（演者：武藤厚子研究員、座長 光澤弘研究員）
- ⑥ 第 53 回日本伝統鍼灸学会学術大会（東京大会）【令和 7 年 10 月 11・12 日】
入門講座 天地人治療会（木戸正雄主任研究員、光澤弘主任研究員、東垣貴宏研究員、武藤厚子研究員）
- ⑦ 第 68 回比較統合医療学会（東京大会）【令和 7 年 11 月 19 日】
「前立腺炎に対する天地人治療の症例」（一般演題：武藤厚子研究員）
- ⑧ 東洋鍼灸医学 経絡治療第 244 号 p 22～35【令和 8 年 2 月 15 日】
「脈診を初めてはじめる人のために 第 27 報―脈状の検証(5)「大脈」「小脈」「太脈」「細脈」―（論文発表：光澤弘主任研究員、木戸正雄主任研究員、武藤厚子研究員、東垣貴宏研究員他）

(3) 基礎研究班

(研究員：川瀬明子主任研究員 共同研究者(東京有明医療大学)：高倉伸有教授、矢島裕義教授、高山美歩准教授)

※ 「鍼灸および経皮通電刺激が体性運動神経(VFR)に及ぼす影響」、「Double-blind 鍼のマスク効果」、「鍼の臨床研究」、「鍼の基礎研究_鍼刺激が腱血流量に及ぼす影響」を継続して研究。

第46回(公社)東洋療法学校協会学術大会(東京)【令和7年9月30日】

「鍼刺激が上肢骨格筋の最大随意収縮力に及ぼす影響」(川瀬明子主任研究員、共同研究者(東京有明医療大学)：高倉伸有教授、矢島裕義教授、高山美歩准教授他)

(公社)東洋療法学校協会学会誌 2026(48), 49-53

(4) 経穴認知班

(研究員：小川一主任研究員、橋綾子研究員、吉田麻衣子研究員、橋本隆研究員)

※ フォースフィードバック装置(触覚デバイス)による刺鍼トレーニングに向けたシステムの発展(土井教授との共同研究)、経穴認知に向けた身体操作の検討、頸部の椎骨動脈と経穴からの深さとその周辺の構造の3D画像化(菊池先生との共同研究)

研究結果発表は以下の3題。

第74回全日本鍼灸学会学術大会(名古屋大会)【令和7年5月30日~6月1日】

- ① 「エコー装置による後頭下筋の安全刺鍼深度について-MRI画像および3D画像との深さの比較-」全日本鍼灸学会学術大会抄録集74回 P 101 2025. (一般演題発表：吉田麻衣子研究員、小川一主任研究員、橋綾子研究員、橋本隆研究員、土井章男特命教授(岩手県立大学))
- ② 「頸部経穴の内部の可視化及び3Dモデルの製作(第3報)-椎骨動脈に対する危険深度の立体的認識-」全日本鍼灸学会学術大会抄録集74回 P 101 2025. (一般演題発表：小川一主任研究員、菊池友和主任研究員、五十嵐久佳医師(東京クリニック脳神経内科)、山口智客員教授(埼玉医科大学東洋医学科)、土井章男特命教授(岩手県立大学))
- ③ 第53回日本伝統鍼灸学会学術大会(東京大会)【令和7年10月11・12日】
「風池穴の安全刺鍼深度と伝統的刺鍼法の比較研究」(一般演題発表：吉田麻衣子研究員)

(5) 臨床治療班(附属鍼灸院研究グループ)

(研究員：吉川信主任研究員、寺師健研究員)

周波数の違いによる自律神経の変化について研究。講演や監修等は以下の8題。

<講演>

- ① 吉川 信：東洋医学-鍼灸治療，第55期バイオメディカル・カリキュラム，東京女子医科大学先端生命医科学研究所，2025.4.5. 東京

<監修>

- ② 吉川 信：乗り物酔いで吐き気を感じたら押したいツボ，素敵なあしたへ，2025年4月号；18-19
- ③ 吉川 信：気圧変化による頭痛やめまい改善するツボ，素敵なあしたへ，2025年6月号；18-19
- ④ 吉川 信：座りっぱなしからくる腰痛を和らげるツボ，素敵なあしたへ，2025年8月号；18-19
- ⑤ 吉川 信：長く歩いた時の脚のだるさを和らげるツボ，素敵なあしたへ，2025年10月号；18-19
- ⑥ 吉川 信：食べ過ぎ・飲み過ぎによる顔のむくみに効くツボ，素敵なあしたへ，2025年12月号；18-19

⑦ 吉川 信：アレルギーによる鼻づまりに効くツボ，素敵なあしたへ，2026年2月号；18-19
＜論文審査＞

⑧ 吉川 信：代田賞選考委員会：第48回代田賞発表，Tehamo Vol.5 No.1；130-132.2024

(6) 自律神経研究班（研究員：菊池友和主任研究員、鈴木格研究員）

研究テーマは以下のとおり。講演、シンポジウム、発表、論文、著書等は以下の12題。

- ・自律神経を指標とした鍼灸治療の効果とメカニズムに関する研究
- ・片頭痛、緊張型頭痛等の難治性頭痛に対する鍼灸治療の臨床的検討
- ・頭痛・脳卒中等に対する鍼灸治療と自律神経機能に関する研究
- ・鍼灸治療における安全性・リスク管理に関する研究
- ・経穴内部の可視化および3Dモデル製作に関する研究

＜原著論文＞

① 「専門医との連携で金属アレルギーのリスク管理が良好であった鍼灸治療の1症例」

日本温泉気候物理医学会雑誌 88 (2)：88-96 (2025.05) (菊池友和主任研究員) 藤田洋輔、山口智、関谷剛、坂本歩、竹治真明

＜総説・解説論文＞

② 「自律神経を指標とした鍼灸治療の効果とメカニズム—頭痛と自律神経機能に対する鍼灸治療の臨床的検討—」(菊池友和主任研究員) 現代鍼灸学 25 (1)：33-37 (2025.10)

③ 「難治性頭痛の病態と診断—東洋医学的アプローチと鍼灸治療—」埼玉鍼灸学会雑誌 13(1)：33-35 (2026.03)

＜シンポジウム＞

④ 第78回日本自律神経学会【令和7年10月24・25日】

温故知新—伝統医療の特質を探る：漢方と鍼灸の治療効果と自律神経—

「片頭痛・緊張型頭痛における鍼灸と自律神経機能—エビデンスと展望—」

(菊池友和主任研究員、鈴木格研究員、吉田麻衣子、山口智) 日本自律神経学会総会プログラム・抄録集 第78回: 4 (2025.10)

⑤ 第43回日本神経治療学会学術集会【令和7年11月6日～8日】

神経疾患に対する東洋医学治療の守破離—漢方薬と鍼灸の臨床的効果を探る—

「自律神経を指標とした頭痛・脳卒中等に対する鍼灸治療」(菊池友和主任研究員)

神経治療学 42 (6)：S80 (2025.10)

⑥ 第53回日本頭痛学会総会【令和7年11月21・22日】

東洋医学シンポジウム 「痛みの病態からみた漢方・鍼灸治療の最前線」

難治性の片頭痛・緊張型頭痛における鍼灸と自律神経機能—エビデンスと展望—

(菊池友和主任研究員、鈴木格研究員、吉田麻衣子研究員、山口智客員教授 (埼玉医科大学東洋医学科))

日本頭痛学会総会プログラム・抄録集 第54回: 4 (2025.10)

＜一般演題＞

⑦ 経穴内部の可視化および3Dモデルの製作 (第3報)

全日本鍼灸学会学術大会抄録集 74回 P 101 2025. (一般演題発表：小川一主任研究員、菊池友和主任研究員、五十嵐久佳医師 (東京クリニック脳神経内科)、山口智客員教授 (埼玉医科大学東洋医学科)、土井章男特命教授 (岩手県立大学))

<講演>

- ⑧ 国立障害者リハビリテーションセンター 卒後研修会【令和7年8月24日】
「実践から学ぶ！ 一次性頭痛に対する鍼治療の最前線―頸肩こりや脳血流が頭痛に与える影響―」
(菊池友和主任研究員)
- ⑨ 一枝のゆめ財団 2025年度(第20期)卒後鍼灸手技研究会【令和7年8月31日】
「慢性頭痛の最近の話題と鍼灸治療」(菊池友和主任研究員)
- ⑩ (一社)鹿児島県鍼灸師会 認定C講座【令和7年11月9日】
「痛みの鍼灸臨床―頭痛への治療実技供覧―」(菊池友和主任研究員)
- ⑪ (一社)沖縄県鍼灸師会 特別講演【令和8年3月22日】
「頭痛・顔面痛の臨床」(菊池友和主任研究員)

<著書>

- ⑫ 「頭痛診療における鍼灸の考え方とエビデンス」(日本医事新報社、令和7年5月)

<その他>

- ・NHK「あしたが変わるトリセツショー」 頭痛関連取材協力

[柔道整復分野]

- (7) スポーツ・柔整研究グループ(スポーツ外傷研究班)
(研究員:山口竜彦主任研究員、田中康文研究員、赤羽泰彦研究員、勝村洋介研究員、飯野元研究員、手島遼太研究員)
「高校生スポーツ選手の身体特性と外傷との関連性の調査・研究」を継続して研究。

2. 啓発部門

はり、きゅう及びあん摩マッサージ指圧の各資格保有者を対象に、技術の向上と研究者の育成を目的として、以下のとおり、臨床技術研修講座を開講した。

<第47回臨床技術研修講座(計10回)>

※参加者総数:17名 計10回の延べ参加人数103名 講師の肩書は当時のもの

第1回(令和7年5月10日)「越石式知熱灸について」

越石 まつ江 先生(越石鍼灸院 院長)

第2回(令和7年5月17日)「間欠跛行に対する鍼通電療法―神経パルスを中心として―」

坂井 友実 先生(東京有明医療大学附属鍼灸センター長、東京有明医療大学 保健医療学部鍼灸学科 教授)

第3回(令和7年5月24日)「スポーツと鍼灸」

宮本 俊和 先生(仙台赤門短期大学 鍼灸手技療法学科 学科長・教授)

第4回(令和7年6月7日)「経絡治療の概要と治療の実際」

岡田 明三 先生(経絡治療学会会長、神宮前鍼療所院長)

第5回(令和7年6月14日)「M-テストによる治療法」

向野 義人 先生(元福岡大学スポーツ科学部教授)

第6回(令和7年6月28日)「関節リウマチに対する鍼灸治療」

粕谷 大智 先生(新潟医療福祉大学リハビリテーション学部鍼灸健康学科)

第7回(令和7年7月5日)「私の考える伝統医学的診察・治療の概要と実際」

戸ヶ崎 正男 先生(和ら会代表、日本伝統鍼灸学会相談役、蓬治療所所長)

第8回（令和7年7月19日）「無分流打鍼術について」

関 信之 先生（関墨荘堂鍼灸治療院院長、無分流打鍼継承会前会長、日本刺絡学会理事）

第9回（令和7年8月2日）「びわの葉灸による治療の実際」

深見 哲也 先生（深見灸院院長）

第10回（令和7年8月30日）「天地人治療に関する実際」

木戸 正雄 先生（天地人治療会会長、元日本鍼灸理療専門学校教務部長）

V 収益事業（臨床部門） 【その他事業】

附属クリニックは、地域住民への医療サービス提供のため、昭和50年1月に開設し、その名のとおり、西洋医学と東洋医学の融合を図り、内科においては病気・疾患の治療はもちろんのこと、漢方薬を通じた病気の予防、病後の健康回復、慢性疾患の改善等の治療を行っている。また、整形外科では腰痛やひざ・足の痛み、捻挫・骨折といった外傷以外に、スポーツ整形にも力を入れている。更に平成26年4月からは自由診療の自然医療部門が加わり、様々な症状の患者様に対応してきたが、令和3年3月31日をもって、同部門の診療は終了した。（※ 診療体制は「1. 診療体制」参照）

令和7年度のクリニックの運営状況は以下のとおり。

（※「2. 取扱患者数推移」「3. 医療事業収支」「4. 医療会計 部門別損益推移」も参照）

◆ 患者数

クリニック全体では、前年度を上回り、令和2年度以降で最も多い患者数を記録した。診療科別では以下のとおりである。令和7年度の合計患者数は3,027人で、前年度の2,962人から65人増加している。

◆ 収支

収入は1,158万円、支出は1,949万円で差引▲791万円の赤字となった。収入は前年度比17万円の増加、支出は前年度比2万円の増加となり、収支は前年度より赤字額が15万円縮小した。なお、支出1,949万円の内訳は以下のとおりである。

- ・医薬品費：488万円（前年度比+50万円）
- ・人件費：979万円（前年度比▲47万円）
- ・経費（人件費を除く）：482万円（前年度比▲2万円）

◆ その他

令和7年4月、X線撮影装置の故障に伴い、診療体制を維持するため、機器入替を行った。

- ・導入機器：一般X線撮影装置「RADREX」（キヤノンメディカルシステムズ株式会社）
- ・導入方法：8年リース契約
- ・物件価格：3,930,000円（税込）
- ・月額リース料：45,870円（税込）
- ・リース料総額：4,403,520円（税込）
- ・会計処理：リース資産及びリース債務として計上

1. 診療体制（令和8年3月31日現在）

<内科>

	月	火	水	木	金	土
午前			/		関（※）	田中
午後				田中		/

※漢方内科 予約制

<整形外科>

	月	火	水	木	金	土
午前			/	福林		①福林 ②立花 ③渡會 ④星川
午後	立花	①③⑤相原				今井

（参考）令和8年4月1日以降

<内科>

	月	火	水	木	金	土
午前			/		関	田中
午後				田中		/

※漢方内科 予約制

<整形外科>

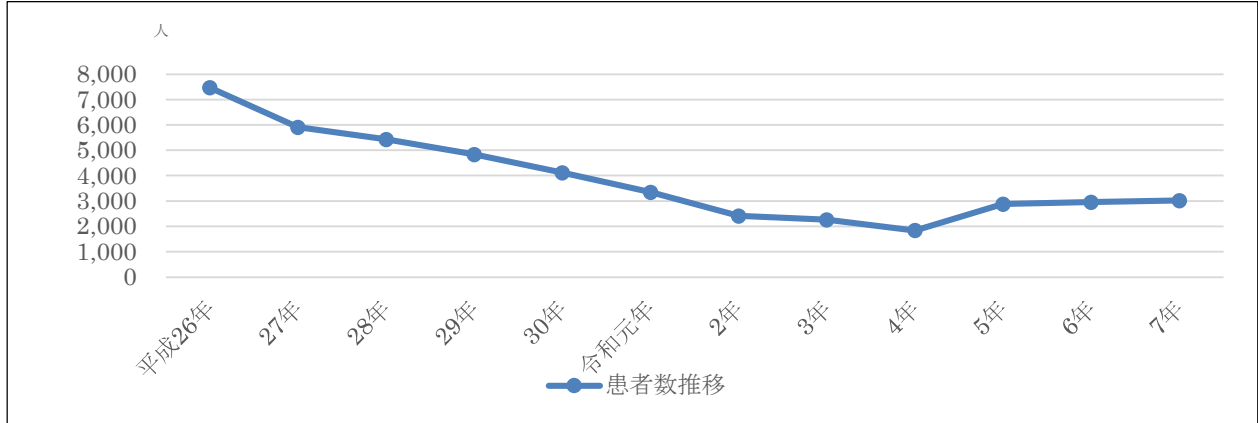
	月	火	水	木	金	土
午前			/			①福林 ②立花 ③渡會
午後	立花	①③⑤相原 ②④ 福林			②④渡會	今井

2. 取扱患者数推移（延人数）

（単位：人）

年 度	平成 26 年	27 年	28 年	29 年	30 年	令和元年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	7 年
患者数	7,471	5,910	5,430	4,839	4,115	3,345	2,416	2,267	1,844	2,885	2,962	3,027

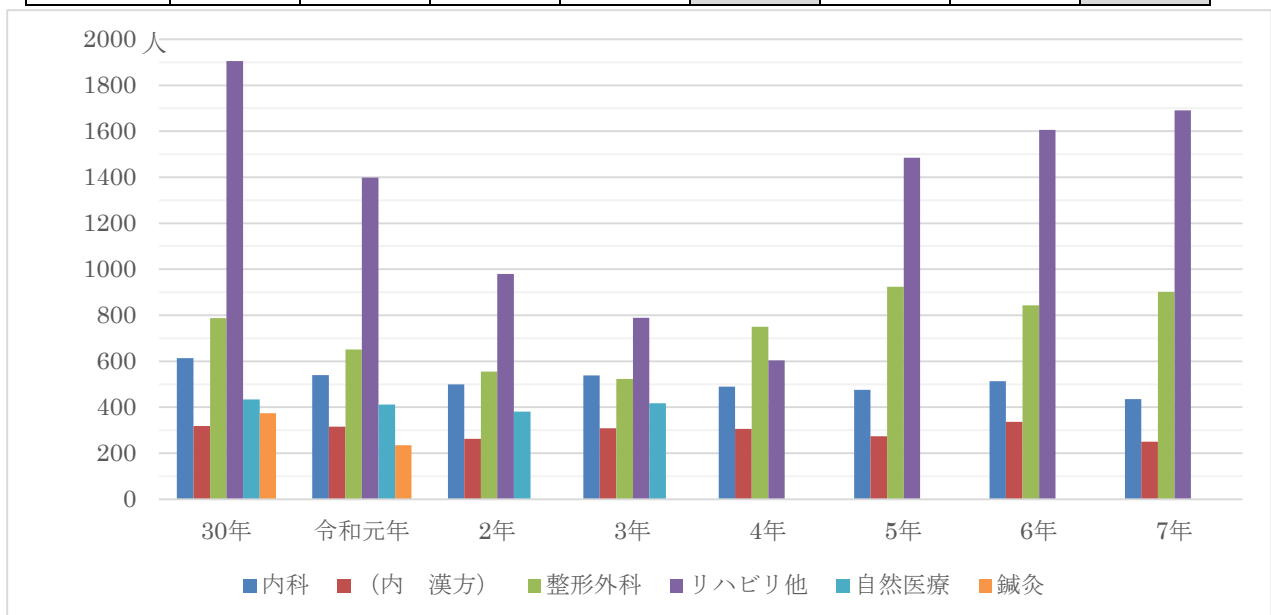
【備考】 令和元年度途中で鍼灸部門終了、令和 3 年度末で自然医療部門終了



◎診療科別 内訳

（単位：人）

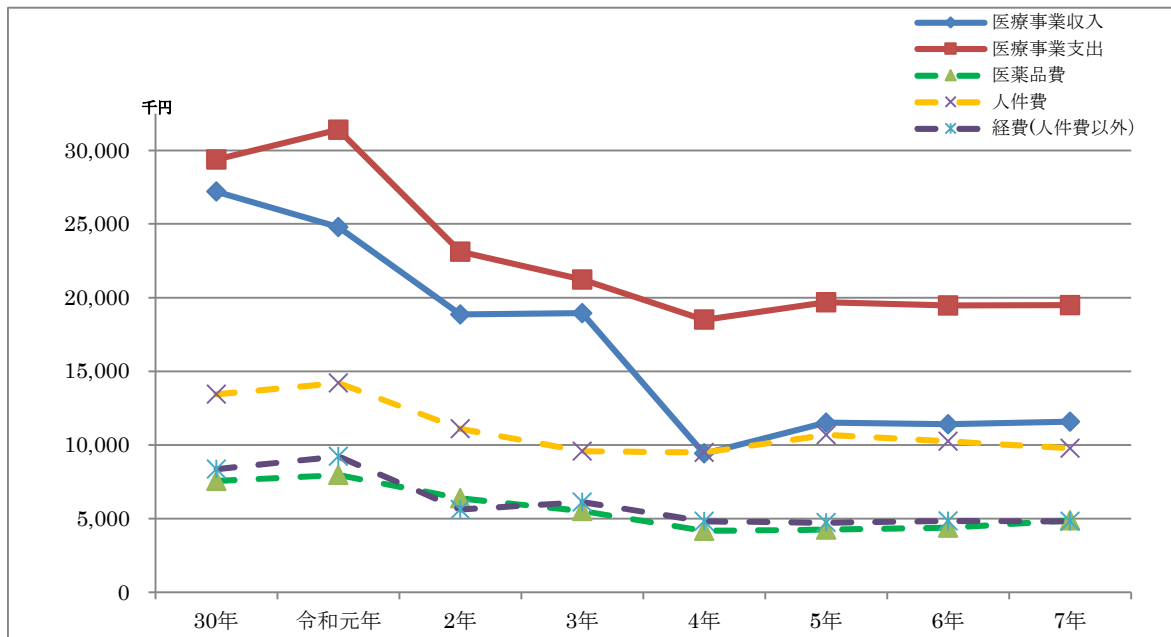
年度	内科	(内 漢方)	整形外科	リハビリ他	小計	自然医療	鍼灸	合計患者数
平成 30 年	614	(319)	788	1,905	3,307	434	374	4,115
令和元年	540	(315)	651	1,398	2,699	411	235	3,345
2 年	500	(263)	555	980	2,035	381	0	2,416
3 年	538	(308)	523	789	1,850	417	0	2,267
4 年	490	(306)	750	604	1,844	0	0	1,844
5 年	446	(271)	931	1,500	2,877	0	0	2,877
6 年	513	(337)	843	1,606	2,962	0	0	2,962
7 年	435	(250)	901	1,691	3,027	0	0	3,027



3. 医療会計 部門別損益推移

(単位：千円)

		30年	R1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年
保険診療	収入	13,191	11,557	8,752	8,883	9,373	11,515	11,411	11,583
	費用	20,704	22,628	17,243	15,692	18,507	19,679	19,476	19,494
	(医薬品)	4,918	5,506	4,356	4,104	4,179	4,263	4,381	4,883
	(人件費)	11,940	12,687	10,396	8,886	9,496	10,690	10,253	9,786
	(経費)	3,846	4,435	2,491	2,701	4,832	4,726	4,842	4,824
	損益	▲7,513	▲11,071	▲8,491	▲6,809	▲9,133	▲8,165	▲8,065	▲7,911
自然医療	収入	12,504	12,263	10,117	10,062	52	0	0	0
	費用	8,239	8,347	5,885	5,539	0	0	0	0
	(医薬品)	2,645	2,458	2,034	1,425	0	0	0	0
	(人件費)	1,083	1,093	709	686	0	0	0	0
	(経費)	4,511	4,796	3,142	3,429	0	0	0	0
	損益	4,265	3,916	4,232	4,522	52	0	0	0
鍼灸	収入	1,506	962	0	0	0	0	0	0
	費用	432	432	0	0	0	0	0	0
	(人件費)	432	432	0	0	0	0	0	0
	損益	1,074	530	0	0	0	0	0	0
合計	収入	27,201	24,782	18,869	18,945	9,425	11,515	11,411	11,583
	費用	29,375	31,407	23,128	21,232	18,507	19,679	19,476	19,494
	(医薬品)	7,563	7,964	6,390	5,529	4,179	4,263	4,381	4,883
	(人件費)	13,455	14,212	11,105	9,572	9,496	10,690	10,253	9,786
	(経費)	8,357	9,231	5,633	6,130	4,832	4,726	4,842	4,824
	損益	▲2,174	▲6,625	▲4,259	▲2,287	▲9,082	▲8,165	▲8,065	▲7,911



以上

事業報告書の附属明細書

令和7年度事業報告書には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書に記載すべき「事業報告の内容を補足する重要な事項」はありません。

以 上